

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.37
2010.8

くしろ丹頂



2番草収穫たけなわ（鶴居村上幌呂）

C O N T E N T S

- 外国人研修生受入式 1
- 釧路管内JA女性部員交流会 2
- 「合同会社フィードセンタービーナス」建設工事安全祈願祭
- 理事会報告 3
- 全国共済農業協同組合連合会より車とAEDが寄贈される
- 職員コンプライアンス研修会
- 普及センターだより 4
- タオルを贈る運動メッセージ 5
- 生乳生産実績/家畜販売市況情報 6
- 農場防疫に取り組もう!! 7



「合同会社フィードセンタービーナス」建設工事安全祈願祭

外国人研修生受入式がおこなわれる！！



6月21日、当JA本所において、外国人研修生受入式が行なわれました。

この外国人研修生受入制度とは、研修・技能実習を通して、日本の酪農技術を習得させ、研修生母国の酪農の発展に寄与し、また日本文化等の体験により、わが国への理解を深めて国際貢献に役立つことを目的とした取り組みです。

受入式では、外国人研修生受入協議会々長の中尾幹夫氏が挨拶し、当JAの各地区から受け入れをす



る7農場の代表者が、今回ワイリピンから到着した9名の研修生と顔を合わせ、それぞれ挨拶を交わしました。そして、今後の3年間にわたる研修・技能実習期間に向けた心構えなどについて情報を交換しました。

また、言葉や文化、食生活など、国同士で様々な違いはありますが、受け入れ農場にとっても、研修生にとっても意義のある研修・技能実習となるよう今後の取り組みが期待されます。



研修生と各農場の代表者が対面

釧路管内 J A 女性部員交流会開催



8月2日、釧路パレスボウルで、J A 釧路地区女性協議会主催による釧路管内 J A 女性部員交流会が開催されました。

この交流会は毎年行なわれており、今年も釧路管内の各 J A 女性部員並びに事務局担当者、関係者あわせて76名が参加、うち当 J A 女性部から16名が参加し、ボウリングで心地よい汗を流し楽しいひとときを過ごしました。

また、ボウリング終了後、場所を移動し、昼食会が行なわれ、日頃なかなか会うことの出来ない部員同士が、意見交換を通して親睦をはかり、大変有意義な交流会となりました。



ボウリングでの交流

「合同会社フィードセンタービーナス」 建設工事安全祈願祭開催

7月30日に、釧路市音別町尺別において、畜産担い手育成総合整備事業（再編整備型）による「合同会社フィードセンタービーナス（代表社員 大坂博文組合員）」の建設工事安全祈願祭が開催されました。

この事業は、良質な粗飼料生産と労働負担の軽減等を目的として、尺別・直別地区の7戸の生産者で構成する T M R センターで、23年からの本格稼働に向けて建設工事が着工しました。

音別地区では、初めての本格的な T M R 施設として、今後建設工事が無事完了し、地域酪農の中核施設として、組合員の酪農生産に機能していくことを期待します。



理 事 会 報 告

6月定例理事会 平成22年6月25日（金）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 定期監査（第1四半期末）報告について
4. 内部審査の結果について
5. 5月末財務状況について
6. 事業の実施処理状況について
7. JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」
8. 「特定組合員に係る特別運用基準」の一部見直しについて

付議事項

- 議案第1号 道農業検査指摘事項に対する改善状況報告について
- 議案第2号 組合業務及び財産（連結含む）の状況に関する情報開示について
- 議案第3号 融資の承認について
- 議案第4号 特定組合員特別運用基準に係る対象組合員について
- 議案第5号 固定資産の取得について
- 議案第6号 森林整備事業の実施について
- 議案第7号 育児および介護休業規程の一部変更について
- ※以上全件原案通り承認されました。

7月定例理事会 平成22年7月29日（木）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 6月末財務状況について
3. 事業の実施処理状況について

付議事項

- 議案第1号 監事監査の結果に対する回答について
- 議案第2号 融資の承認について

- 議案第3号 固定資産の取得について
- 議案第4号 諸規程の一部変更について
- ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 国際バルク戦略港湾（穀物）への釧路港指定実現に係る署名活動の取り組みについて

全共連より車とAEDが寄贈される



交通事故安全指導車両



救命救急用AED

全国共済農業協同組合連合会（全共連）より安全・安心な農村地域づくりに向けての社会貢献活動として、「交通事故安全指導車両」と「交通事故救命救急用AED」が寄贈されました。これにより、「高齢化進展への対応」及び「救急医療体制の確保」という農村地域における課題に対応するため、有効的に活用してまいります。今後ともJA共済事業をよろしくお願い致します。

職員コンプライアンス研修会開催



7月22日・23日の両日、当JAにおいて、JA北海道中央会根釧支所松原健治調査役を講師に招き、全職員を対象としたコンプライアンス研修会が行われました。

「コンプライアンス」とは、「法令、規則、JAの内部規定、社会のルールを遵守すること」で、日本全国で後を絶たない企業不祥事の発生に対し、コンプライアンスの必要性が年々高まっております。

「法令、規則等を遵守すること」は当たり前であり、企業倫理（組織の哲学）、社会の良識、常識（社会規範）を含めた遵守が必要となっております。今後とも不祥事未然防止に向けた対策を継続して取り組んでまいります。

子供の農場内事故を防ぐために

酪農家には「働く姿を見せられる」「自然とふれあう機会がある」

等、理想の子育て環境があります。

その一方で、牛や作業機、堆肥盤等、子供にとって危険なものも数多くあります。

農場内の事故防止対策について考えてみましょう。

一 子供の行動とヒヤリ体験

思いもかけない子供の行動に驚いた事はありませんか？

まずは子供がどのような行動をとるのかを理解しましょう。

幼児の特性（太字で記載）と実際のヒヤリ体験です。

①動くもの、音のするものに

強い興味を持つ

・夢中で犬を追いかけて、堆肥に腰のあたりまで埋まった

・手の届く位置に設置してある換気扇に触ろうとする



子供の動きは予測不能

②農業機械や家畜が

危ないと思っていない

・トラクタが好きで、動いていても平気で近づいていく

・牛の真後ろに寄っていき、蹴られそうになる

③何でも口に入れてみる

・消毒槽の水を飲んでみた

二 事故を防ぐ安全対策

事故防止には「しつけ」や「目配り」に加え「目を離しても安全な環境を整備する」事が大切です。

①進入させない、触らせない

室内ではストープを柵で囲う、扇風機にメッシュカバーをかぶせるように、農場でも危険物に「触れない」「近づけない」ようにしましょう。

・換気扇に安全カバーを設置する
・糞尿貯留場所を柵で囲う



換気扇に設置した安全カバー

②死角をつくらない

小さな子供は死角に隠れ、存在を見落としたりやすくなります。見通しの良い構内にしましょう。

・敷地内に不要物はおかない

・敷地内に雑草を繁茂させない

・看板を立て、訪れる車両に子供がいる事をお知らせする

・死角を減らすミラーの設置
・車両が一方通行できるようにする（ロータリーの設置）



ミラー設置で死角を減らし事故防止

③手の届かない場所に資材を保管

農薬や抗生物質、使用済みの注射器等は、放置しておくとし子供遊び道具になりかねません。手の届かない場所に保管しましょう。

・消毒剤や薬剤は施錠付きの棚に保管する

・使用済みのボトルや注射器等はフタ付きのゴミ箱に捨てる



危険な注射器の放置

日常における情報交換が農場内事故防止の第一歩です。

まずは、家族や地域でヒヤリ体験や事故防止対策について話題にしてみたいかがでしょうか？

（平成二十二年八月）

「タオルを贈る運動」 メッセージ

パルシステム生活協同組合連合会「こんせん72牛乳」利用者の方々より、酪農生産者の皆様へ贈られたタオルとともに、お礼のメッセージをいただいております。ここでは、その一部をご紹介します。

メッセージ

いつも おいしい 牛乳をありがとうございます。
うちの長男は 重度の障害と 難病を抱えています。
牛乳が 大好きで 病気が 悪化する時も 牛乳
熱が あっても 牛乳 おかげで 倒れる時も 骨も 痛くも
何とも なかったんだ あれ!!
給食の時は 「牛乳は ちゃんと食べらね」と 先生に言われ
ちゃんと 完食 するそうです。
そして 最後に 牛乳を おいしく に ゆっくり 飲むそうです。
それから すい〜 に 牛乳を お茶で 飲むそうです。
牛乳に まぐろ 豆腐 煮込んで いただきます。 大皿でいただきます。
これまでも 見守りのために おいしい 牛乳を 作って下さい。
どうぞ お身体を大切に!!

生協名 ユーアイコープ
センター名 東松山センター

お名前: 山崎
【3】本のタオルを贈ります

メッセージ

いつも おいしい 牛乳をありがとうございます。
初めて 飲んだ時、味の違いがはっきりと
わかりました。子どもが小さいのでできるだけ
安心安全なものを求めています。そのためには、
私たちに 消費者も協力できることはしたいと思います。
野菜ならば いくらでも自分で 作ることもできますが、
やはり牛乳は 皆様方に 頼るしかありません。
これからも どうぞ お身体を大事に...。
どうぞ よろしく お願い致します。

生協名 ユーアイコープ
センター名 大宮センター

お名前: 古本 幸子
【2】本のタオルを贈ります



■平成22年度 生乳生産実績（6月）

	月計乳量（kg）	6月前年比（％）	累計乳量（kg）	累計前年比（％）
釧路丹頂農協	8,982,683.6	100.4	26,690,359.0	99.8
（鶴居地区）	3,007,456.1	101.0	8,908,741.6	100.0
（幌呂地区）	2,351,903.0	102.0	7,076,698.3	101.0
（白糠地区）	2,158,019.0	101.7	6,384,169.2	101.9
（音別地区）	1,465,305.5	95.4	4,320,749.9	94.7
管内計	47,620,012.9	101.6	139,550,874.3	100.6
前年度管内計	46,850,583.2		138,695,667.6	

■平成22年度 生乳生産実績（7月）

	月計乳量（kg）	7月前年比（％）	累計乳量（kg）	累計前年比（％）
釧路丹頂農協	8,859,120.1	99.5	35,549,479.1	99.7
（鶴居地区）	2,938,779.4	98.8	11,847,521.0	99.7
（幌呂地区）	2,383,039.5	101.6	9,459,737.8	101.2
（白糠地区）	2,074,076.1	100.4	8,458,245.3	101.5
（音別地区）	1,463,225.1	96.7	5,783,975.0	95.2
管内計	47,104,339.0	101.0	186,655,213.3	100.7
前年度管内計	46,659,173.4		185,354,841.0	

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

22年8月現在
（単位：千円）

規格		種別		登録牛	
				上	中
育成（8～12ヶ月）				280	200
初妊				520～480	480～440
経産	2産～3産			410	360
	4産～5産			360	310

初生とく

22年8月現在

初生とく	規格	単価
	61kg～70kg	都度協議
	45kg～60kg	700円/kg
	40kg～44kg	600円/kg

（提供／ホクレン釧路支所）

黒毛和種

22年7月13日音更市場
（価格：円・体重：kg）

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	615頭	830,550	130,200	343,519	289	1,190
	去勢	789頭	613,200	42,000	426,544	306	1,392

（提供／ホクレン帯広支所）

農場防疫に取り組もう!!

釧路農業改良普及センター
釧路中西部支所より

1. これからのサルモネラ症発生に気をつけましょう

過去の月別発生状況を見ると、8月～10月の間に集中しています。今年は平年よりも気温が高く推移しています。まもなく秋になるからと気を緩めることなく、農場防疫についても一度見直してみましょう。

**サルモネラは、決して
人ごとではありません!!**

サルモネラ月別発生戸数（釧路管内H12～H21）



2. 農場へ病原体を持ち込ませない

サルモネラに限らず、すべての病原菌は外部から農場へ持ち込まれます。農場内へ病原体を持ち込ませないことが、農場防疫の第一歩です。

農場へ病原体を持ち込む可能性の高いものは、次の通り。

◎導入牛

◎牛に直接触れる人とその車輛（獣医師、人工授精師、削蹄師など）

◎牛に触れる可能性の高い人とその車輛（農協職員、普及員、近隣農家など）

◎農場に出入りする人とその車輛（セールスマン、役場、新聞・郵便の集配者など）

◎野生鳥獣（カラス、ネズミ、犬猫など）

しかし、牛の導入をやめたり、関係者を農場に出入りさせないわけにはいきません。そこで大事なことは、「当農場では真剣に防疫に取り組んでいるので、心して出入りしてください」という意思表示をすること。『農場出入口への石灰撒布と、畜舎入り口への踏み込み消毒槽の設置』は、防疫のための最大のアピールです。



農場出入口への石灰撒布



牛舎入り口の踏み込み消毒槽

3. 農場内で、病原体を移動させない

◎多くの病気は、口から入って糞にでます。

エサと糞を扱う人を分けるか、エサの仕事を終えてから除糞等の仕事をするべきです

◎病気になるやすい弱い牛は ①哺育・育成牛 ②分娩した牛 ③泌乳ピークの牛です。

これらの牛は、農場で最も清潔で気持ちの良い場所に置くべきです。

哺育牛が親牛の側に置かれると、病原体に感染する危険が高まります。

◎処理室入り口だけでなく、畜舎全部に踏み込み消毒槽を設置することが望ましい。

☆病気を防ぐことは、農場に大きな利益をもたらします。

☆様々なノウ・ハウがありますので、是非普及センターにご相談ください。

編集後記
EDITOR'S NOTE

- 一時期のぐずついた天候も回復し、最近は夏らしい天候が続くようになりました。農作物の生育状況も良い方向に向かい、今後も台風などによる大きな被害がないことを願っております。
- 道東の夏は短いですが、牛は暑さに対してストレスを感じております。夏の乳牛に対する暑熱対策として、飲水や換気対策、夜間放牧の実施や日陰の利用、毛刈りなどの実施により、乳牛のストレス軽減に努めましょう。
- 国内での口蹄疫の発生に対し、今後終息宣言が発表されるまでの間、釧路管内においても今一度、予防と対策について再確認をし、侵入防止の徹底に努めてまいりましょう。